2014年度　後期　　リフレクションペーパー

学科名	建築・デザイン学科 経営ビジネス学科				
科目名	TOEIC英語Ⅱ				
科目区分	リテラシー科目	単位数	1単位	開講時期	3年次後期
必修・選択の別	選択必修				
担当者	田吹　香子				
授業の到達目標（シラバスから）	TOEIC 本試験で300点以上取得を目標とする。そのために、まずはTOEICの試験形式を知ることから始め、TOEICの問題の中の社会生活に必要なコミュニケーションの情報の取得能力を実践と共につけてゆくこととする。具体的には、語彙を増やすこと、文章を読む(聴く)力をつけること、全体の内容を把握する力をつけることに焦点を当て、復習テストなどで学習した内容を定着させていく。				
日程と内容	木曜日2限 第1回：TOEICとは　試験の構成の説明 第2回：Unit 1　旅行① 第3回：Unit 2　オフィス① 第4回：Unit 3　レストラン 第5回：Unit 4　季節・天気 第6回：Unit 5　健康 第7回：Unit 6　旅行② 第8回：TOEICミニ模擬テスト 第9回：Unit 7　休暇 第10回：Unit 8　オフィス② 第11回：Unit 9　ショッピング 第12回：Unit 10　就職活動 第13回：Unit 11　娯楽 第14回：Unit 12　旅行③ 第15回：期末試験模擬演習 第16回：TOEIC IP TEST（期末試験）				
成績評価基準	定期試験	100%	実技		
	臨時試験		部外評価		
	報告書・レポート		プレゼンテーション		
	課題				
	演習		計	100%	
授業到達目標の達成度	TOEIC形式を知る：達成した 語彙を増やす：達成した 文章を読む（聴く）能力をつける：やや達成した TOEIC300点以上取得：やや達成した				
反省点	授業に集中できないという学生が一部いたので、授業の進め方をより工夫すべき。依然として欠席が多いのが難。				
来年度の計画	予習・復習する姿勢をまずつけさせること。スコアを少しでも上げるよう、学習機会を増やすこと。映画などを使ってリスニングの練習をする方法をデモンストレーションすること。				
授業評価アンケートに対するコメント	復習用の単語帳を作るようアドバイスし、例年通り実戦形式のミニテスト（60分）と回答のコツの解説を2回行ったので、学生はTOEICの全容を理解できたようだ。実戦用問題集をプラスし、リーディングの宿題を出すなど学習の機会を授業外でも設けられるようにしたので、おおむねコメントは肯定的だったようだ。また、スマートフォンなどにテキスト付属のCDの音源をダウンロードし、どこでもいつでも予習・復習するよう指導した結果、学習がある程度定着し、学習を楽しみTOEIC受験のコツをつかんだ学生が多くなった。				

履修登録者数	33 名	定期試験受験者数	16 名	合格者数	10 名	合格率	63%